
想い

刹音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
想い

【コード】
N7224M

【作者名】
刹音

【あらすじ】
貴方が好き。貴方に気づいてほしかったこの想い。誰か、私の想いに気づいてくれる？

いつも貴方だけを目で追っていたの。

まったく私の気持ちに気づいてくれなかったけど。

まだ、それでもまだね、貴方が好き。

でもね。分かっているの、諦めなくちゃいけないことくらい。

貴方へのこの気持ちを簡単に諦められるとは思えないけど。

理屈とかで片付く問題じゃないからね。

がんばれば諦めるかもしれない。忘れられるかもしれないけど。

とても、とても辛いことなんだよね。私にとって。

うれしそうに笑う貴方を見てると少し胸が痛くなる。

このまま貴方を想っていても辛いだけって分かってる。

れっきとした彼女が、貴方にはいるんだもんね。

かわいい小柄な彼女と並んで笑う貴方。

らんらんと輝く太陽が二人を照らして、それが二人を応援してるみたいで。

裂けそうなほどに胸が痛くなる。

綺麗な顔で貴方が笑っているのだからこれで良いのかもしれないけど……。

もう、私は一緒にいることは出来ないのかな。

貴方の隣で笑いあいたい。貴方の彼女ののように。

なんて、無理だってことは百も承知なのにね。

たぶん、貴方を忘れても貴方以上に好きになれる人なんて、いない。

ガキみたいな考えだけど、まだ心の中で貴方と結ばれる夢を思い描いているの。

だから、叶うことの無い夢が覚めるその日まで好きでいさせて。

いつ来るか分からないけど、きつと来るから。

好きだったことを、昔話だと笑い飛ばしてしまえるような日が来る

から。

綺麗な笑顔で、私の大好きな笑顔で笑っていてね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7224m/>

想い

2011年10月7日08時27分発行